

楽楽館だより 第145号【令和元年7月度】

「やっと出番だ！」とばかりに蝉の鳴き声が響き渡る季節がやってきました。長かった梅雨が終わり、この暑さで皆様大丈夫かしら…というのは要らぬ心配だったようです。皆様にとっては低気圧の方がお辛いのか、この所表情も明るく元気な方が増えており、気圧がご高齢の方に与える影響の不思議に、驚く今日この頃です。7月の皆様のご様子をお届けします。

◇ ～パッチワークで作る飾り布～◇

7月の手芸は、パッチワークでした。パッチワークとは、「種々の形、色の布、皮、編み地などを継ぎ合せて、一つの図柄を構成する手芸、およびその作品」のことで、今回は、ご利用者のお一人から提案して頂いたのをきっかけに、館で初めて取り組むこととなりました。様々な作品があるのですが、初めてということではまずは簡単にできるものから挑戦。四角い布を9枚縫い合わせ、最後にベースの布に縫い付けます。ランチョンマットとしても、飾り布としても使っていただける作品となりました。手作業は、脳に多くの刺激を与えることがわかっています。目が見えづらかったり、指先がしびれていたりと、様々な症状がおありの皆様ですので、無理なく、楽しみながら作品完成の達成感を感じていただけたらと思っています。



◇ ～七夕の飾り付け～◇

7月7日の七夕。今年もサンライトパストラル五番街様より笹を頂戴し、1・2号館ともに飾りつけを行いました。各々の願いを書きいただき、中には、「ずっとキレイでいられますように」との強者も。季節感を感じていただくこと、その行事にまつわる思い出話をしていただくこと、皆でどこにどう飾るか相談して決めること。レクリエーション一つとっても元気になるための様々な要素があります。



◇ ～今月のナイスショット・いろいろな場面をご紹介～◇



(写真左) 毎月、お帰り前には2曲ずつ“今月の歌”を歌います。7月は炭坑節と海（松原遠く～♪）でした。馴染みあるリズムと歌に、思わず手拍子と笑顔が出ます。

(写真左下) 「なかなか自分でうまく切れないよ」。元気な時にはどうということない爪切り動作も、難しくなる方が少なくありません。スタッフも気にかけるようにしていますが、必要な方はどうぞお声掛けくださいね。

(写真下) 機能訓練の時間が終わって、元気にパチリ☆仲間って良いですね～。

(写真右上) スタッフは色々な勉強会をしています。今回は、敬語や文章の書き方について パワリハにて。

(写真右下) 頭の体操。お一人お一人に合わせて、無理なく参加していただけたらと考えています

